

授業科目 精神保健看護学実習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護
西川 薫		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【概要・一般目標：G10】 心を病む人々と関わることを通して対象への理解を深め、さらに、自己洞察する能力を養う。患者―看護者関係における治療の意味、精神科における看護の方法と役割を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 心を病む人々への理解を深める。 2. 患者―看護者関係における治療の意味を理解する。 3. 心を病む人々の援助の方法を考え、実施することができる。 4. 集団におけるチームワークを考える。 5. 心を病む人々ととり巻く環境について理解を深める。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	1. 学内オリエンテーション			1-6	実習病院のオリエンテーション (看護部長等をお迎えして)
	2. 病院・病棟オリエンテーション			1-6	
	3. 病棟実習（約2週間）				
	1) 患者に関心を寄せることができる。			1	
	2) 精神症状を把握し、それらが生活に及ぼす影響を理解できる。			2	
	3) 患者が歩んできた人生を想像し、現在の状況を想像しながら関わる。			2	
	4) 患者の生活を観察し、健康な部分を理解し働きかける。			2, 3	
	5) 患者―看護者関係の段階(開始, 発展, 終結)を意識しながら関わる。			1-4	
	6) 病院における専門職の連携について学ぶ。			4, 5	
	7) デイケア実習をとして地域生活支援について学ぶ。			4, 5	
	8) プロセスレコードの検討			1-6	
	9) ケース検討会の実施			1-6	
	10) 援助の方向性を所定の記録用紙に整理する。			1-6	
	11) 実施した援助の評価			1-6	
	4. 実習のまとめ			1-6	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	精神看護臨床実習	日本精神科看護技術協会監	中央法規出版	2007・1,800円＋税	
	精神看護学	田中美恵子編	医歯薬出版	2001・2,400円＋税	
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
レポート・・・・・・・・・・20%					
目標達成度の評価ならびに出席状況・・80%					